

歴博暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会 13:30 から 暮らしの植物苑東屋

第114回 9月27日(土)『初秋の城址公園を歩く』 中川重年(本館客員教授)

第115回 10月25日(土)『衣服と植物』 澤田和人(本館研究部)

今週のみどころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

『伝統の朝顔』展終了

10年目の朝顔展が7日終了しました。

出物系統の一部が15日くらいまでご覧いただけます。

659 青海松葉吹詰紫細切采咲牡丹



ミズヒキ (タデ科タデゾク)

ミズヒキは林のふちなどによくみられます。高さは50~80センチになる多年草です。茎の上部に5mmほどの小さい花が穂状につきまます。よくみると花は横向きで、花には花弁がなく4個の花被片があります。上の3個は赤く、下の1個は白いため、上から見ると赤く、下から見ると白組みえます。



キクイモ (キク科ヒマワリ属)



北アメリカ原産の多年草で、茎は3メートルにもなります。地下に多くのいもができます。いも(塊茎)はイヌりんを多く含み、煮ると甘みがあります。煮物のほか、みそ漬け、飴、アルコールや果糖の原料にします。野性化していろいろのところで見られます。

ミョウガとヤブミョウガ

植物苑のはずれにミョウガ(ショウガ科)とヤブミョウガ(ツユクサ科)がならんで生えています。区別できますか?



ミョウガ



ヤブミョウガ



ゲンバショウコ
(フウロソウ科フウロソウ属)



キクイモ
(キク科ヒマワリ属)



ヤブミョウガとミョウガ



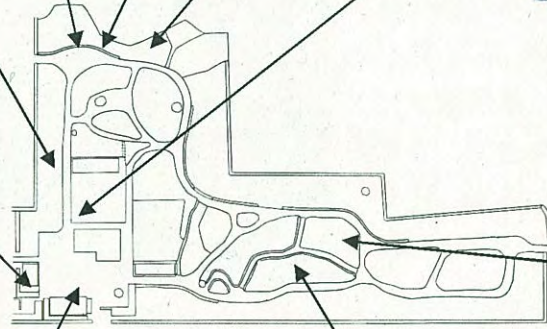
ツリガネニンジン
(キキョウ科ツリガネニンジン属)



ジュウロクササゲ
(マメ科ササゲ属)



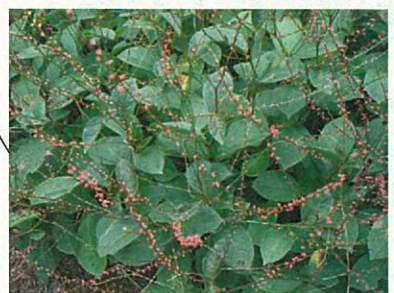
伝統の朝顔展示中



カラムシ
(イラクサ科カラムシ属)



パーリー・ゲーツ
(ソライロアサガオ)



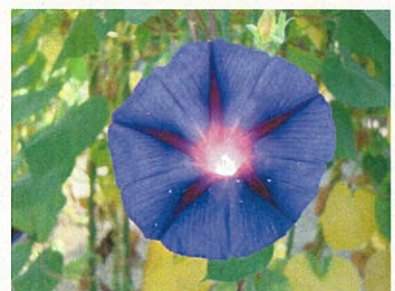
ミスヒキ
(タデ科タデ属)



ヘブリーブルー
(ソライロアサガオ)



フライング・ソーサー
(ソライロアサガオ)



マルバアサガオ
(マルバアサガオ)